

2020.05.22

【英国】デジタル・文化・メディア・スポーツ省、5Gが新型コロナウイルスの蔓延に関連しているという主張の証拠はないと発表

デジタル・文化・メディア・スポーツ省（DCMS）は、5月6日、5Gが新型コロナウイルスの蔓延に関連しているという主張には証拠がないと発表した。

DCMSは、これらの理論は世界保健機関の化学専門家及び英国に拠点を置く独立した事実確認慈善団体である「Full Fact」によって否定されているとし、コロナウイルスは電波やモバイルネットワーク上を移動できず、ウイルスは5Gモバイルネットワークが展開されていない多くの国でも蔓延していると説明した。

「Full Fact」は、5Gが人に有害であるという証拠はなく、それがコロナウイルスの蔓延を加速していないことを明らかにしている。また、Ofcomは、5Gとコロナウイルスの関連性に関する主張に対処するためのガイダンスを作成・提供している。さらに、英国の携帯事業者（EE、O2、スリーUK及びボーダフォン）は、5Gとコロナウイルスの関連性の科学的証拠がないことを強調する共同声明を発表している。

DCMSは、5Gの仕組みに関して、5Gは次世代のワイヤレスネットワークテクノロジーであり、5Gモバイルデータは電波で送信され、これらの電波は非電離性であるため、細胞内の人のDNAに直接損傷を与えるほどのエネルギーはないと説明した。なお、英国の公衆衛生局（Public Health England）も電波及び健康に関するガイダンスを提供している。また、DCMSはコロナウイルスについて好きなようにコメントしたり、オンラインで何かを共有したりする前に、政府が提供するウェブサイトの「共有チェックリスト」を使用して、虚偽または誤解を招くコンテンツかどうかを確認するように勧めた。